

市内旅館等宿泊支援事業「こおりやま開拓クーポン」
企画運営業務に係る公募型プロポーザル審査基準

第1 審査手順

1 資格審査

市は、参加者から提出される参加資格審査に関する書類をもとに、参加者が満たすべき参加資格要件及び業務遂行能力について確認し、確認の結果、資格に満たさない場合のみ、失格の旨を通知する。

2 提案審査

(1) 提案書類の確認

市は、参加者に求めた提案書類が全て揃っていることを確認し、提出書類が不備の場合は、失格とする。

(2) 審査

市内旅館等宿泊支援事業「こおりやま開拓クーポン」企画運営業務に係る公募型プロポーザル選定委員会（以下「選定委員会」という。）は、参加者から提出された提案書類の各様式に記載された内容について審査を行い、審査項目ごとに点数を付与する。

(3) 契約候補者及び次順位者の選定

選定委員会は、評価点の最も高い提案を契約候補者として選定し、次に高い提案を次順位者として選定する。総合評価点の最も高い提案が2つ以上ある場合は、「クーポン提案の魅力、効果、実施方法、誘客方法」の合計点数が最も高い提案を最優秀提案者として選定する。

(4) 最低制限基準

最低制限基準として、選定委員会委員の合計点数が配点の合計の60%とし、60%に満たない場合は失格とする。

(5) 独自提案

仕様書に記載されている内容以上の独自提案がある場合、選定委員会委員の裁量で各項目内において、加点するものとする。

第2 審査項目及び配点

審査項目	配点	評価ポイント	目安
クーポン提案の魅力、効果、 実施方法、誘客方法 仕様書第2の1・3	40	本業務の目的に沿った提案であり、魅力がある提案となっているか。	15
		原資配分、販売方法等が多くの子市民や旅行者が使用できるという妥当性を持ち、本市に誘客・効果が生じる提案であるか。	15
		福島県「また来て。」割との連携がなされた提案となっており、効果を生む情報発信の内容となっているか。	10
事務局の運営、安定的な実施 仕様書第2の2・4	30	提案したクーポンの内容に対応しうる事務局設置になっており、安定的な運営を実施できる提案か。	10
		問い合わせ窓口（コールセンター）の設置に関し、旅行者にとって適切な対応ができる体制となっており、本市の負担軽減策が講じられているか。	10
		宿泊事業者への支援策が適切な内容か、宿泊事業者への支払いを含め安定的に実施できる提案か。	10
旅行者の地域消費、再訪施策、効果検証 仕様書第2の5・6	20	本市で消費するための施策、本市への再訪を促す施策の提案が効果的な内容か。	10
		アンケート調査、施策の効果検証が迅速かつ適切な提案となっているか。	10
金額	10	見積額採点方法配点×（申込者のうち最も低い見積金額）÷見積金額	10
合計			100